

新計画のプラン名・基本理念・基本的視点について

(1) 平成 26 年度第 1 回下野市子ども・子育て会議での委員からの主なご意見

・笑顔	・しもつけっ子	・(子どもの) 幸せ	・みんなで、地域で
・にこにこ	・みんなで	・親子のためのもの	・(子どもは地域の)
・思いやり	・エンジョイ	・子どもの未来	宝
・ともに	・スマイル	・安心できること	
【案】			
・みんなで、地域で、しもつけっ子を育てよう			
・みんなで育てる地域の宝、笑顔いっぱいのもちづくり			
・一人ひとりの子どもを大切に、みんなで支える			

(2) 基本理念及び基本的視点等 (案)

①案作成の考え方

準拠法等、社会情勢、下野市の状況（前回会議の資料 5 を参照）を踏まえたうえで、(1) の委員からの主なご意見を基に案を作成しました。

プラン名は 2 つの案をご提示しましたが、これ以外のプラン名も考えられます。

②プラン名およびサブタイトルの案について

A 案 **笑顔にこにこ しもつけっ子プラン**

～みんなで楽しく！ とともに地域の宝を育てるために～

B 案 **しもつけっ子 笑顔プラン**

～みんなで楽しく！ とともに地域の宝を育てるために～

③基本理念

子どもたちが笑顔で未来に向かって健やかに育つまちづくり

子どもたちは地域の宝であり希望です。子どもたちの笑顔は地域を明るくします。子どもたちの健やかな育ちと子育てを支えることは、一人ひとりの子どもや保護者の幸せにつながることはもとより、将来の下野市の担い手育成のための未来への投資であり、地域全体で取り組むべき最重要課題の一つです。

子どもも、大人も、「このまちに住んで良かった、住み続けたい。」と思える下野市を目指します。

④基本的視点

視点1：すべての子どもの幸せと成長

「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指すとの考えを基本に、社会的な支援の必要性が高い子どもやその家族を含め、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができること

視点2：安心できる子育て環境

妊娠・出産期からの切れ目ない支援をはじめ、ニーズに応じた乳幼児期の教育・保育事業を展開することによる安心して子どもを産み育てられる子育て環境

視点3：協働による子育てしやすいまちづくり

子育ての第一義的な責任は保護者であるものの、下野市の将来を担う子どもたちの健やかな成長のためには、市民・地域・行政の協働による子育てしやすいまちづくりが必要であるとの認識

(3) 現行計画（平成26年度末までの次世代育成支援後期行動計画）と新計画との比較

①現行計画

プラン名 下野市次世代育成支援後期行動計画
サブタイトルなし

基本理念：子どもたちが笑顔で心豊かに育つ安心子育てのまちづくり
基本的視点 視点1：子どもの幸せの視点
視点2：次代の親づくりの視点
視点3：社会全体で支える地域づくりの視点

②新計画

笑顔にこにこ しもつけっ子プラン 又は しもつけっ子 笑顔プラン

～みんなで楽しく！ とともに地域の宝を育てるために～

基本理念：子どもたちが笑顔で未来に向かって健やかに育つまちづくり
基本的視点 視点1：すべての子どもの幸せと成長
視点2：安心できる子育て環境
視点3：協働による子育てしやすいまちづくり